

田舎ぐらし

地域づくり

しごと体験

若者の地方体験交流のご案内

2012年度版

第2のふるさとづくり

美味しい空気、きれいな水

国土交通省 国土政策局 地方振興課

国交省HPはこちら→



URL : http://www.mlit.go.jp/kokudoseisaku/chisei/crd_chisei_tk_000007.html

募集地域一覧

国土交通省が把握した募集地域を案内するものです。

応募上の注意

- ここに掲載されている地域での体験に関するお問合せ、参加申込などは、各地域の担当者宛にお願いいたします。問い合わせ先は、募集要項にあります。
- 必ず希望する地域に連絡を取り、詳細（プログラム内容、受入期間、料金等）をご確認の上、直接ご応募下さい。

No. 1 北海道ニセコ町
No. 2 北海道当麻町
No. 3 北海道平取町
No. 4 北海道標津町
No. 5 青森県七戸町（※）
No. 6 岩手県久慈市
No. 7 秋田県能代市
No. 8 山形県小国町
No. 9 山形県遊佐町
No. 10 福島県会津若松市
No. 11 茨城県常総市
No. 12 茨城県常陸太田市
No. 13 群馬県桐生市
No. 14 群馬県上野村
No. 15 新潟県長岡市
No. 16 新潟県津南町（※）
No. 17 新潟県粟島浦村
No. 18 富山県南砺市
No. 19 福井県大野市
No. 20 福井県鯖江市

No. 21 福井県坂井市
No. 22 福井県若狭町
No. 23 山梨県小菅村
No. 24 静岡県東伊豆町（※）
No. 25 滋賀県栗東市
No. 26 奈良県川上村
No. 27 和歌山県紀美野町
No. 28 和歌山県日高川町
No. 29 島根県邑南町
No. 30 山口県長門市
No. 31 徳島県美波町
No. 32 長崎県小値賀町
No. 33 熊本県小国町
No. 34 大分県大分市
No. 35 宮崎県西米良村
No. 36 福島県南会津町
No. 37 宮城県栗原市

※ 参加申込書は最終ページにありますので、ご利用下さい。

なお、上記で※がある No. 5、16、24 は指定の参加申込書で応募して下さい。

若者の地方体験交流 募集概要
(費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

No. 1 : 北海道ニセコ町 (人口 : 4 7 1 9 人 : 平成 2 3 年 1 2 月末現在)

(1) 最寄りの交通機関と所要時間

J R 函館本線 ニセコ駅 札幌駅から約 1 6 0 分	※いづれも本数が少ないので注意してください
都市間バス 札幌から約 1 7 0 分	

(2) 事業実施の目的等

「さまざまなまちや人々との連携」を主旨に、全国各地から大学生を受入れ、町民・職員との交流や意見交換の中から、まちづくりのヒントや情報を得たい。

(3) 体験の内容

・ 自主的なテーマ設定のもとでの地域調査及びまちづくりへの提言 ・ 地域イベント（神社祭りなど）への参加と協力 ・ 農作業体験	など
---	----

(4) 受入主体

ニセコ町	(5) 受入期間 期間指定（8月頃を予定） 詳しくはお問い合わせください。
------	---

(6) 応募上の注意

※費用負担	現地までの交通費：本人負担 宿泊費：半額程度助成 食事代： 本人負担
①要 件	地方での活動・地域づくりに関心があり、自主的に取り組むことができる意欲と行動力のある学生
②応募締切り	お問合せください
③宿泊施設	町内宿泊施設（ペンションなど）を紹介予定
④食事形態	町からの提供なし。宿泊施設に依頼可（本人負担）
⑤そ の 他	汚れてもいい服装。長靴を用意してください 自転車の貸出あり

(7) 地域担当者から一言

ニセコ町では、町の独自事業としてインターンシップを実施しています。期間の指定など条件はありますが、意欲のある学生の来町をお待ちしています。

(8) お問い合わせ先

自治体名 ニセコ町	担当部署 企画環境課経営企画係
(ふりがな) ふくい さき 担当者氏名 福井 沙紀	TEL : 0136-44-2121 FAX : 0136-44-3500
E-mail : kikaku@town.niseko.lg.jp	
URL : http://www.town.niseko.lg.jp/	
応募宛先 〒048-1595 北海道虻田郡ニセコ町字富士見 4 7 番地	

若者の地方体験交流 募集概要

(費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

No.ー 2 : ^{とうまちょう} 北海道当麻町 (人口: 7, 165 人)

(1) 最寄りの交通機関と所要時間

受け入れ主体の当麻町(農林課)庁舎所在地まで、旭川空港から自家用車で30分、または、JR石北線当麻駅下車徒歩1分

(2) 事業実施の目的等

北海道のど真ん中、大雪山の麓に広がるこの当麻町を訪ねる皆さんに我々が用意できるもの。それは、綺麗な空気、のどかな風景、満天の星空、ゆっくりと流れる時間、朝もぎ野菜の美味しさ、そして、開拓者精神溢れる地域の人たちの温かな笑顔です。そこで行われる、人と仕事と風土を知るための体験活動から、この町ならではの魅力を感じ取っていただき、その魅力を生かした新たな地域づくりとは何か、臆することなく率直に提言いただけることを期待しています。また、貴重なこの経験から、当麻町が皆さんの第2のふるさとになることを願っています。

(3) 体験の内容

農業体験……北海道一の米産地であるとともに、施設野菜や花の栽培が盛んな当麻町の基幹産業である農業について、野菜の栽培から出荷まで農家が行う一連の作業を体験します。
福祉体験……国内におけるノーマライゼーション運動を牽引する社会福祉法人当麻かたるべの森が所有する22haの癒しの森「かたるべの森」にて、同法人のアウトドア事業セクションの補助スタッフとして、知的ハンディを持つ同森利用者の支援に当たります。
資源調査……上記体験分野をはじめ、町内にあるもの全てを対象に新たな利活用方法を町職員と検討します。また、単一の町だけに止まらない広域的な地域づくりを検討する観点から、近郊の旭川市にある旭山動物園の見学やドラマ「北の国から」の舞台になったことで有名な富良野地方の訪問、または、大雪山のトレッキングを行う等して広域的な観光資源や自然資源、さらには、まちづくり策の掘り起こしも行います。
地域行事参画……地域で行われる大小イベントに参加し、幅広い交流を図ります。
体験報告会……体験調査活動の報告会を行います。

(4) 受入主体

(5) 受入期間

当麻町	7月下旬から9月上旬までの間の連続3週間から4週間で調整
-----	------------------------------

(6) 応募上の注意

※費用負担	現地までの交通費：自己負担 宿泊費・食事代・交流会費・資源調査時施設入館料等：自己負担はなし
①要件	20歳代の都市圏に在住する大学生・大学院生。生産活動としての農業やグリーンツーリズム、農の6次産業化、農と福祉または環境との連携等の農を生かした地域づくり、さらには、アウトドア活動の導入等による自然環境を生かした地域づくりなどに興味があり、積極的に地域に入っていける健康で明るい方。募集人員は2名で性別は問いません。
②応募締切り	6月15日(金)必着。別添の募集参加申込書・小論文記入用紙に必要事項を記載の上、担当者まで郵送願います。
③宿泊施設	ファームステイ、民泊、当麻かたるべの森「かたるべホール」
④食事形態	宿泊先が提供。資源調査時は当麻町が提供。
⑤その他	農作業等の各種体験活動で行われる作業について、各自の要望や体力に応じたメニューを設定するほか、受入期間並びに詳細等、何なりとご相談に応じますので、電話、FAX、メールで下記担当者までお気軽にお問い合わせください。

(7) 地域担当者から一言

人とのふれあいは都会のキャンパスでもできることですが、未知の場所での農体験や地域行事への参加、田畑や山をバックにしたのフィールドワークは、将来の仕事や生き方を真剣に模索しているあなたであるなら、それはとてつもなく強烈な原体験となるでしょう。だからこそ、その真摯さに恥じない誠意ある対応を私自身心がけるつもりでいます。
当麻町は開拓の鍬が下ろされ高々120年の「若い」まちです。こちらも同じく「若い」皆さんと新しい地域の歴史を創っていかれたらと思っています。

(8) お問い合わせ先

自治体名	当麻町	担当部署	農林課 農政係
(ふりがな)	はやし けんじ	TEL	0166-84-2123
担当者氏名	林 憲治	FAX	0166-84-4125
E-mail	hayashi-k@town.tohma.hokkaido.jp		
URL	http://town.tohma.hokkaido.jp/nougyouninaite/		
応募宛先	〒078-1314 北海道上川郡当麻町4条東3丁目4番63号 当麻町役場農林課		

若者の地方体験交流 募集概要
(費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

No. 3 : 北海道^{びらとりちょう}平取町 (人口 : 5, 629人)

(1) 最寄りの交通機関と所要時間

JR 北海道 日高線 富川駅下車 道南バス 平取町役場前バス停
所要時間 富川駅からバスで20分

(2) 事業実施の目的等

- ・田舎生活とふれあいの楽しさを感じてもらう。
- ・外からの視点と若者の感性で、町や人の良さと悪さを発見して教えてもらいたい。
- ・体験を通して、今後の生活において平取町のPR役を担ってもらう。
- ・町の特産や人材の活用法などについて考えてもらう。

(3) 体験の内容

- ・農業体験 (トマト収穫など)
- ・アイヌ文化体験 (北海道とアイヌ民族についての歴史研修)
- ・地域イベント体験 (義経例大祭・アイヌ民族伝統儀式)
- ・町特有の観光産業での営業体験

(4) 受入主体

平取町

(5) 受入期間

8月 上旬 ~ 8月 下旬
14日間

(6) 応募上の注意

※費用負担	現地までの交通費：自己負担 (新千歳空港からは送迎あり) 宿泊費：なし 食事代：なし (但し、一部自己負担になることがあります)
①要 件	現役の大学生・大学院生で、地域おこしや町づくりに興味があり、地域の人と積極的に交流ができる元気で明るい方 (男女問わず)
②応募締切り	7月6日 (金) 必着
③宿泊施設	民泊 (ホームステイ)
④食事形態	宿泊先が提供。体験メニューの都合で、弁当など一部自己負担の場合もあり。
⑤そ の 他	体験作業が出来る服装を用意。

(7) 地域担当者から一言

夏の北海道は世界有数の過ごしやすい風土です。田舎の贅沢を体験し、町の人たちと楽しくふれあい、様々な新しい発見をして貴重な経験をしてもらいたいです。

(8) お問い合わせ先

自治体名 平取町	担当部署 まちづくり課 企画係
(ふりがな) みうら あきのり 担当者氏名 三 浦 明 徳	TEL : 01457-2-2222 (直通) FAX : 01457-2-2277
E-mail : kikaku2007@town.biratori.hokkaido.jp	
URL : http://www2.town.biratori.hokkaido.jp/biratori/	
応募宛先 〒055-0192 北海道沙流郡平取町本町28番地 平取町役場 まちづくり課	

若者の地方体験交流 募集概要
(費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

しべつぐんしべつちょう
No.ー 4 : 北海道標津郡標津町 (人口: 5, 731人)

(1) 最寄りの交通機関と所要時間

中標津空港より車で 25 分、JR 釧路駅より車で 2 時間、道東道足寄 IC より車で 3 時間 30 分、釧路空港より 2 時間、女満別空港より 2 時間 20 分

(2) 事業実施の目的等

- ・都市住民などとの人・物の交流の活発化による地域活性化
- ・自然環境や産業などの生産活動を活用した地域間交流

(3) 体験の内容

- ・自然、産業等を活用した体験プログラム各種（要望に合わせて応相談）
- 総合的鮭学習（鮭水揚げ見学（早朝）・地域 HACCP 学習・サーモン科学館で行う鮭学習（施設見学・鮭解剖等）・鮭加工体験（新巻き鮭づくり・いくら作り体験）・サーモンフィッシング・溪流釣り）、標津湿原散策とジャングルカヌー、海釣り、北方領土関連メニュー、酪農場見学、酪農民泊等

(4) 受入主体

(5) 受入期間

標津町エコツーリズム交流推進協議会

通年

(6) 応募上の注意

※費用負担	現地までの交通費： 自己負担 宿泊費： 自己負担 食事代： 自己負担
①要 件	特になし
②応募締切り	特にないが、概ね 1 ヶ月前までの事前調整（体験内容宿泊等）が必要
③宿泊施設	町内宿泊施設を利用（希望体験内容によっては、民家宿泊の可能性有り）
④食事形態	町内バーベキューハウス、飲食店、宿泊施設を利用
⑤そ の 他	

(7) 地域担当者から一言

平成 13 年よりこれまでに 150 校を超える小中高校、大学など団体の教育旅行を受け入れており、北海道道東標津町ならではの自然・産業を活かした体験活動を提供しております。ご興味がありましたら、ご一報ください。

(8) お問い合わせ先

自治体名 標津町	担当部署 商工観光課
(ふりがな) 担当者氏名 担当 佐賀周逸 観光係長	TEL : 0153-82-2131 FAX : 0153-82-1787
E-mail : kankou@shibetsutown.jp	
URL : http://www.shibetsutown.jp	
応募宛先 〒086 -1632 北海道標津郡標津町北二条西 1 丁目 1 - 3	

若者の地方体験交流 募集概要
(費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

かみきたぐんしちのへまち
No.ー 5 : 青森県上北郡七戸町 (人口: 17, 680人)

(1) 最寄りの交通機関と所要時間

◆JR東北新幹線 七戸十和田駅
(新幹線の他に、東京～七戸十和田駅間の高速夜行バス「シリウス号」のご利用も可能です。)

(2) 事業実施の目的等

毎年恒例となっている事業の一つ「七戸町かだれ塾2012」(小学校5・6年生対象の田舎体験イベント事業)のサポート隊を募集します。農家や参加児童の援助をしていただく一方、子供達や地域住民との交流を楽しみ、更に地域の良さ・温かさを実感してもらいたいと思います。そして「また行こう七戸町!」と言ってもらえるようなフレンドリーな間柄になることを目的とします。

(3) 体験の内容

8月1日 七戸十和田駅13時集合 事前研修や掃除	※昨年は「大畑川ラフティング」「田んぼの
8月2日 かだれ塾2012 1日目	生き物探し」「巣箱作り」「ドラム缶風呂」
8月3日 かだれ塾2012 2日目	
8月4日 かだれ塾2012 3日目 17時頃解散	「農業体験」等を行いました。

(4) 受入主体

七戸町かだれ田舎体験協議会

(5) 受入期間

8月1日(水)～8月4日(土)の4日間

(6) 応募上の注意

※費用負担	現地までの交通費: 自己負担 宿泊費: 無料 食事代: 5,000円(4日間分)
①要 件	子供と接するのが好きな大学生、大学院生 男性4名・女性4名程度
②応募締切り	6月29日(金) 必着 指定の申込用紙に必要事項を記入の上、在学証明書を添えて担当者まで郵送をお願いします。(応募多数の場合、書類審査の上決めさせて戴きます。)
③宿泊施設	農家民宿(子供達と一緒に宿泊)
④食事形態	共同調理等
⑤そ の 他	イベント期間中は協議会負担で傷害保険に加入します。 上記体験の内容に書かれている日程は、変更する場合があります。

(7) 地域担当者から一言

当協議会は、グリーン・ツーリズム事業に取り組んでおり、毎年夏休み期間に小学生高学年を対象とした「かだれ塾」を開催しています。ホームページには過去の「かだれ塾」の様子をアップしていますので、楽しそうな子供達の様子をぜひご覧下さい。会員の農家さんは、普通の旅では知り合うことが出来ない、温かい心の持ち主ばかりです。子供達と一緒に見守りながら、楽しい夏休みの思い出を作りませんか?

(8) お問い合わせ先

自治体名 青森県七戸町	担当部署 七戸町農林課 内 七戸町かだれ田舎体験協議会事務局
(ふりがな) こばやし よしかず 担当者氏名 小林 義和	TEL: 0176-68-2116 (直通) FAX: 0176-68-2804
E-mail: yoshikazu-kobayashi@town.shichinohe.lg.jp	
URL: http://www.kadaretenma.com	
応募宛先 〒039-2792 青森県上北郡七戸町字森ノ上131-4 七戸町役場農林課 内 七戸町かだれ田舎体験協議会 事務局	

参 加 申 込 書

「七戸町かだれ塾2012・サポート隊」に以下のとおり参加申込みいたします。

氏 名	(ふりがな)			写真添付 (4cm×3cm)
生年月日	西暦 年 月 日	年 齢	歳	
所 属 大 学				
住 所	〒			
電 話 番 号	(自宅) ----- (携帯)			
メールアドレス				
緊急連絡先	ご家族氏名	(ふりがな)		
	電 話 番 号			
アレルギー (食べ物や動物等)	あり(具体的に)			なし
ー自己PRメッセージー				
ー七戸町かだれ塾2012 企画に関する意見やアイデアがありましたら、お気軽にどうぞー				

※申込締切りは、6月29日(金)必着です。在学証明書を同封の上郵送願います。
 ※応募多数の際は、書類審査の上決めさせて戴きます。
 ※緊急連絡先電話番号は、ご家族にすぐ連絡が取れる番号をご記入願います。(緊急時以外には使用いたしません)

若者の地方体験交流 募集概要
(費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

No.ー 6 : 岩手県久慈市 (人口 : 37,857人【H24.1.31 現在】)

(1) 最寄りの交通機関と所要時間

九戸 IC から車で 60 分
東北新幹線二戸駅から車で 70 分 (新幹線リレーバス)

(2) 事業実施の目的等

- ① 地域内外の交流による地域活性化
- ② 取組の客観的評価によるサービス向上

(3) 体験の内容

- 【1】教育旅行及び野外活動受入補助
- 【2】キャンプ受入補助 (グループスタッフとして参加者と行動を共にする)

(4) 受入主体

岩手県久慈市

(5) 受入期間

- 【1】5月上旬から9月下旬頃までのうち7日間程度
- 【2】7月30日(月)から8月3日(金)の5日間

(6) 応募上の注意

※費用負担	現地までの交通費：自己負担 ※東京都からお越しの場合 (東北新幹線利用) 新幹線代 (往復) 30,000 円程度 バス代 (往復) 3,000 円程度
①要 件	大学生もしくは大学院生で地域の取り組みを盛り上げてくれる方
②応募締切り	原則1ヶ月前にはお問い合わせ下さい
③宿泊施設	【1】共同生活又は農林漁家民泊 【2】キャンプ
④食事形態	【1】全て提供 【2】キャンプ参加者と共に自炊
⑤そ の 他	

(7) 地域担当者から一言

久慈市では、教育旅行 (修学旅行) 受入等体験型観光の推進に取り組んでいます。
地域づくりの取組等を肌で感じることができると思います。
一緒に活動しながら、交流の輪を広げましょう。

(8) お問い合わせ先

自治体名 岩手県久慈市	担当部署 産業振興部交流促進課交流促進グループ
(ふりがな) まつうら ゆい 担当者氏名 松浦 優衣	TEL : 0194-52-2168 (直通) FAX : 0194-52-3653
E-mail : y-matuura@city.kuji.iwate.jp	
URL : http://www.city.kuji.iwate.jp/	
応募宛先 〒028-8030 岩手県久慈市川崎町1-1 久慈市産業振興部交流促進課 若者の地方体験交流 係	

若者の地方体験交流 募集概要
(費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

別添

あきたけんのしるし
No. 7 : 秋田県能代市 (人口 : 59,569人 ※平成23年12月末)

(1) 最寄りの交通機関と所要時間

秋田新幹線利用 : J R 秋田駅より J R 東能代駅まで 1 時間 飛行機利用 : 秋田空港よりリムジンバス、J R で 1 時間半 大館能代空港より自動車で 45 分
--

(2) 事業実施の目的等

地域外の子どもや若者との交流により、受入地域が自らの特色を活かしながら元気なまちをつくっていくとともに、訪問者に能代の面白さを発見していただく。
--

(3) 体験の内容

そば打ち、きりたんぽ／だまこ鍋(郷土料理)づくり、農作業、縄ないなどの田舎体験を主とします。 その他、能代ならではの活動(J A X A 能代ロケット実験場見学、木工体験、有名高校バスケット部の練習見学のほか各種自然体験など)もお気軽にご相談ください。

(4) 受入主体

能代いなか体験推進協議会

(5) 受入期間

6月～10月の期間中随時 1泊2日～3泊4日程度

(6) 応募上の注意

※費用負担	現地までの交通費 : 自己負担 宿泊費 : } 原則体験料として自己負担 食事代 : } (例) 1泊3食2体験=7,500円
①要 件	田舎体験・農家体験に興味がある学生グループ(3人～20人程度)
②応募締切り	希望日の2か月前
③宿泊施設	農家民泊(または宿泊機能をもつコミュニティセンターになる場合あり) ※民泊は教育活動の一環であることが確認できる(担当教員による紹介状等が提示できる)場合のみ可
④食事形態	宿泊先で共同調理
⑤そ の 他	・教育活動の一環でない場合、またはご希望により一般の宿泊施設を利用する場合は参加者において手配となります。 ・最終日に報告会を開催し、滞在中の感想やご意見をいただきます。

(7) 地域担当者から一言

地域の人は、みなさんを温かく迎えてくれます。すぐに家族のようになれること間違いなし！ 能代での体験は必ずあなたの財産に・・・

(8) お問い合わせ先

自治体名 能代市	担当部署 企画部 市民活力推進課 地域づくり支援係
(ふりがな) (おのさくら) 担当者氏名 小野 さくら	TEL : 0185-89-2212 (直通) FAX : 0185-89-1770
E-mail : katsuryoku@city.noshiro.akita.jp	
URL : http://noshirotaiken.com/	
応募宛先 〒016-8501 秋田県能代市上町1番3号	

若者の地方体験交流 募集概要
(費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

No.ー 8 : おぐにまち 山形県小国町 (人口 : 8, 876人)

(1) 最寄りの交通機関と所要時間

JR 米坂線 小国駅下車 循環バス 役場前バス停

(2) 事業実施の目的等

・インターンシップに来た学生が小国町の中で様々な活動を行い、多くの人々と意見交換することにより、町のにぎわいや元気を生み出す。
・全国各地で小国町の魅力を紹介し広めてくれるような、小国町のファンを増やす。
・地域づくりにふれることで、そのやりがいや楽しさを感じてもらい、将来参画しようとする人づくりにつなげる。

(3) 体験の内容

・農林畜産体験
・地域行事（盆踊り・小正月行事など）への参加
・森林セラピー体験
・地域の食文化体験（地域に伝わる料理の調理、試食） など

(4) 受入主体

山形県小国町

(5) 受入期間

① 8月上旬7日間程度
② 1月中旬5日間程度

(6) 応募上の注意

※費用負担	現地までの交通費、食事代 など
①要 件	地域づくりに興味があり、将来的に地域づくりに関わってみたい大学生及び大学院生
②応募締切り	① 6月下旬頃、② 12月上旬頃
③宿泊施設	町宿泊施設 など
④食事形態	
⑤そ の 他	作業ができる服装を用意してください。

(7) 地域担当者から一言

白い森の国“おぐに”は、東京23区がすっぽり入るほど広い、自然いっぱい人情いっぱいの町です。小国町では、森との関わりによって先人がはぐくんできたぶな文化やマタギ文化、森の癒し効果を体感できる森林セラピー基地など、古いものと新しいものが共生しています。ぜひ、このでっかい小国町に来て、いろいろな人と出会い、いろいろなことを体験して、白い森の国のファンになってください。

(8) お問い合わせ先

自治体名 山形県小国町	担当部署 総務企画課行政管理室法務行政担当
(ふりがな) えんどう あい 担当者氏名 遠藤 愛	TEL : 0238-62-2112 (直通) FAX : 0238-62-5464
E-mail : soumu@town.oguni.yamagata.jp	
URL : http://www.town.oguni.yamagata.jp/	
応募宛先 〒999-1363 山形県西置賜郡小国町大字小国小坂町2-70	

若者の地方体験交流 募集概要

(費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

No. 9 : ^{ゆざまち}山形県遊佐町 (人口 : 15,691人)

(1) 最寄りの交通機関と所要時間

JR 羽越本線 遊佐駅下車 徒歩3分 (遊佐町役場)

(2) 事業実施の目的等

遊佐町での体験を通して、遊佐町を知らない若い方のフレッシュな視点で町の活性化につながるアイデアを提案していただくことを目的としています。

(3) 体験の内容

- ・パプリカ、枝豆、メロン、スイカ等の収穫体験
- ・東京都豊島区で開催している産直販売の出荷準備、販売体験
- ・地域イベントへの参加
- ・観光資源めぐり
- ・体験を通して感じた、町の活性化につながるアイデアの提案 等

(4) 受入主体

- ・遊佐町
- ・遊佐ノ市実行委員会

(5) 受入期間

8月初旬～9月上旬の間で
10日～14日間程度

(6) 応募上の注意

※費用負担	現地までの交通費：自己負担 宿泊費、食事代：町で負担（交流会費や外食などは一部自己負担の場合あり）
①要 件	20歳以上の大学生、大学院生 2名程度
②応募締切り	平成24年6月15日（金）（応募多数の場合 書類審査）
③宿泊施設	農家民泊、公共施設等
④食事形態	受入先で提供
⑤そ の 他	体験内容などについて質問等ありましたらお気軽にお問合せください。

(7) 地域担当者から一言

遊佐町は鳥海山、日本海、庄内平野に囲まれた自然豊かな町です。また、この自然に育まれたおいしいお米（生活クラブ生協で取り扱うお米の6割が遊佐産です。）や、夏にしか食べることのできない天然岩ガキ、糖度抜群の砂丘メロン、生産者数日本一のパプリカなど、食の宝庫でもあります。遊佐町での暮らしをぜひ体験してみてください！

(8) お問い合わせ先

自治体名 遊佐町	担当部署 企画課まちづくり支援係
(ふりがな) さとう ひろや 担当者氏名 佐藤 裕也	TEL : 0234-72-4524 (直通) FAX : 0234-72-3315
E-mail : iimachi@town.yuza.yamagata.jp	
URL : http://www.town.yuza.yamagata.jp/ http://yuza-brand.jp/yuzanoichi.html	
応募宛先 〒999-8301 山形県飽海郡遊佐町遊佐字舞鶴211	

若者の地方体験交流 募集概要
(費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

No. 10 : ^{あいづわかまつし} 福島県会津若松市 (人口 : 125,516 人) H23.12.1 現在

(1) 最寄りの交通機関と所要時間

JR磐越西線 会津若松駅
高速バス 新宿駅・東京駅～会津若松駅他
自家用車 磐越自動車道 会津若松IC・磐梯河東IC

(2) 事業実施の目的等

農家においては、農繁期などの負担軽減や都市住民との交流による地域活性化に繋がり、参加者においては、農家に滞在して農作業に従事することにより、農業・農村をより深く理解してもらう機会となることを目的としています。

(3) 体験の内容

「会津若松市ワーキングホリデー」
・ 水稻、野菜、果樹などの各種作業のお手伝い
・ 農家に宿泊しながら田舎暮らし体験

(4) 受入主体

会津若松市

(5) 受入期間

通年受け入れ（滞在日数は2泊3日以上）

(6) 応募上の注意

※費用負担	現地までの交通費：参加者負担 宿泊費：なし 食事代：なし
①要 件	一定期間きちんと農作業を手伝える方
②応募締切り	希望する初日の2週間前まで 「ワーキングホリデー参加申込書」に必要事項を記入のうえ、会津若松市農政課まで郵送、FAX、電子メールで申し込み
③宿泊施設	受入農家
④食事形態	受入農家で提供
⑤そ の 他	・ 作業ができる服装、着替え、洗面道具、タオルなどを準備してください。 ・ 長靴の無料レンタルも行なっています。

(7) 地域担当者から一言

会津若松市はたくさんの史跡や四季折々の自然など観光資源が豊富なまちです。その一方で農業も大変盛んで水稻、野菜、果樹などあらゆる農作物を栽培しており、いろいろな農作業や農村体験をすることができます。

(8) お問い合わせ先

自治体名 会津若松市	担当部署 農政部 農政課 農業活性化グループ
(ふりがな) しらい くにこ 担当者氏名 白 井 邦 子	TEL : 0242-39-1253 (直通) FAX : 0242-39-1440
E-mail : nosei@tw.city.aizuwakamatsu.fukushima.jp	
URL : http://www.city.aizuwakamatsu.fukushima.jp/	
応募宛先 〒965-8601 福島県会津若松市東栄町3-46	

若者の地方体験交流 募集概要
(費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

じょうそうし
No. 11 : 茨城県 常総市

(人口 : 64,562人)

(1) 最寄りの交通機関と所要時間

電車 : つくばエクスプレス守谷駅下車、タクシー約 20 分
関東鉄道常総線(取手駅乗り換え)小絹駅または水海道駅下車、タクシー約 15 分
高速バス : 東京駅八重洲南口高速バス乗車場から約 65 分。水海道駅下車、タクシー約 15 分

(2) 事業実施の目的等

若者の体験の場として農作業や地域イベントスタッフを体験してもらうことにより、地域の暮らしや自然とのふれあいを感じてもらう。

(3) 体験の内容

- ① 農作業体験 (田植え・竹の子堀・饅頭づくり)
- ② " (稲刈り・さつまいも堀・饅頭づくり)
- ③ ほたる鑑賞会イベントスタッフ (イベントスタッフ・じゃが芋堀・饅頭づくり)
- 他 茨城県自然博物館の見学

(4) 受入主体

(5) 受入期間

(財) あすなろの里	①田植え	I 4月28・29日	1泊2日 各5名程度
		II 5月 5・6日	
	②稲刈り	I 9月29・30日	
		II 10月 6・7日	
	③ほたる	I 6月30日/7月1日	

(6) 応募上の注意

※費用負担	現地までの交通費 : 自己負担 宿泊費・食事代 : 無料
①要 件	農作業や地域イベントに関心のある大学生・大学院生
②応募締切り	①田植え 4月15日 ②稲刈り 8月31日 ③ほたる 5月31日
③宿泊施設	あすなろの里
④食事形態	あすなろの里で提供
⑤そ の 他	農作業のできる服装、長靴、着替え、洗面用具、タオル等をお願いします。

(7) 地域担当者から一言

「あすなろの里」は常総市の地形を生かして昭和54年に自然及び農業に親しむ機会を与えるとともに、教育・体力等の向上を目的に学童農園施設として開園しました。園内には、田畑をはじめ釣堀や体育館等、又、隣接には菅生沼(一望できる展望風呂があります。)や茨城県自然博物館があります。様々な体験を通して、自分を磨きませんか

(8) お問い合わせ先

自治体名 常総市	担当部署 (財)水海道あすなろの里(産業労働部農政課)
(ふりがな) いしつか ふじお 担当者氏名 石塚 富士夫	TEL : 0297-27-3481 (直通) FAX : 0297-27-2806
E-mail : asunaro@city.joso.ibaraki.jp	
URL : http://www.city.joso.lg.jp	
応募宛先 〒 303-0045 茨城県常総市大塚戸町310番地	

若者の地方体験交流 募集概要

(費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

No. 12 : 茨城県常陸太田市 (人口 : 55,300 人)

(1) 最寄りの交通機関と所要時間

水郡線常陸太田駅 東京から 95 分
常磐自動車道 日立南太田 IC 東京から 100 分

(2) 事業実施の目的等

ワーキングホリデー in 常陸太田
交流人口拡大に向けた、農作業ボランティア（ワーキングホリデー）による都市農村交流を図るとともに、都市住民へ魅力を PR し常陸太田の愛好者を増やすことを目的としています。

(3) 体験の内容

常陸太田市の特産品であるぶどうや梨などの果樹生産や農家の作業をお手伝いいただきます。
・果樹の摘果作業 ・野菜等の収穫 ・販売手伝い 等

(4) 受入主体

ワーキングホリデー in 常陸太田
事務局(常陸太田市)・農家

(5) 受入期間

予定
5/25～5/27、7/20～7/22
9/7～9/9 ※3回とも2泊3日

(6) 応募上の注意

※費用負担	参加費 12,000 円 (2泊料金・交流会費) 現地までの交通費：参加者負担 宿泊費：参加者負担 食事代：農家負担 保険代：事務局負担
①要 件	18 歳以上で農作業が出来る方。15 名～20 名程度
②応募締切り	平成 24 年 5 月上旬 郵送・FAX・インターネットでの募集 募集の詳細については市 HP を参照
③宿泊施設	市内旅館
④食事形態	朝食は旅館での食事 昼食・有力については農家で食事
⑤そ の 他	2 泊分の着替えや農作業用の服、雨具等や嗜好品については参加者で用意

(7) 地域担当者から一言

自然豊かな常陸太田市で、農作業を通じ地域の魅力や農家の暮らしを体験して下さい。
ぶどうや梨、野菜や米作りなどさまざまな作業が可能です。

(8) お問い合わせ先

自治体名 茨城県 常陸太田市	担当部署 産業部商工観光課観光交流係
(ふりがな) すずき しょういち 担当者氏名 鈴木 昭一	TEL : 0294-72-3111(内線 623) FAX : 0294-72-0288
E-mail : shokan2@city.hitachiota.lg.jp	
URL : http://www.city.hitachiota.ibaraki.jp/	
応募宛先 〒313-8611 茨城県常陸太田市金井町 3690 番地	

若者の地方体験交流 募集概要

(費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

No.- 1 3 : 群馬県桐生市 (人口 : 1 2 3, 3 6 8 人)

(1) 最寄りの交通機関と所要時間

J R 両毛線 桐生駅下車 徒歩 1 0 分
東武鉄道桐生線 新桐生駅 おりひめバス (市役所前下車) 1 5 分

(2) 事業実施の目的等

本市では、特に 20~30 代の若い世代が「まちなか」から離れていることから、その対応策として都市住民との交流や移住による「まちなか居住」さらには「二地域居住」の推進に努めている。こうした中、伝統産業である織物業の体験、豊かな自然を生かした農業の体験、伝統と文化を継承する桐生八木節まつりへの参加などの体験プログラムを通し、地域住民との交流や意見交換をする中から、「住んでみたい」と思うような、I・J・Uターンの促進策の一助となる「まちづくり」の提言をいただき、地域の活性化につなげていくことを目的として実施する。

(3) 体験の内容

- ・ 桐生市の重点施策・観光施策等についての概要説明
- ・ 桐生市の伝統産業である織物業の体験、桐生八木節まつりの手伝いと参加
- ・ 桐生市の各地域の特性を活かした農業体験や花卉栽培体験
- ・ 桐生市の市民活動団体や地元大学生との交流
- ・ 桐生市の体験施設や観光施設等での交流体験 (参加学生の意見を取り入れて決定します)

(4) 受入主体

(5) 受入期間

桐生市地域づくり交流事業実行委員会	A : 8 月 1 日 (水) ~ 8 月 1 4 日 (火) 14 日間の予定 B : 上記期間以外で随時 2 泊 3 日以上 (要相談)
-------------------	---

(6) 応募上の注意

※費用負担	現地までの交通費： 自己負担 宿泊費： A 自己負担なし B 原則自己負担 食事代： A 原則自己負担なし B 原則自己負担
①要 件	A : 20 歳以上の大学生及び大学院生。市街地と田舎が共存する「まちなか」である桐生市に興味があり、自然・伝統・文化を継承しながら、地域の活性化を図るとともに、I・J・Uターンの促進に関心のある人。 B : 18 歳以上の学生。桐生市に係わることを研究テーマとする人。体験内容については上記 (3) から選択又は自分で体験場所等決めてください。(相談可)
②応募締切り	A : 6 月 1 5 日 (金) 必着 別途の募集参加申込書・小論文記入用紙に必要事項を記載のうえ、担当者まで郵送にて申し込みをお願いします。 B : 随時 別途の募集参加申込書 (写真添付不要) に必要事項を記載のうえ、郵送かメールにて担当者まで申し込みをお願いします。
③宿泊施設	お試し暮らし住宅、農家民宿、民泊など
④食事形態	A : 朝食・夕食は原則宿泊受入先で用意。昼食は原則実施主体で用意。 B : 原則自己負担。ただし、受入先によって用意もあり。
⑤そ の 他	作業ができる服装を用意してください。 A のみ体験に入る前に東京でオリエンテーションを実施予定。 A : 国内旅行保険には実行委員会が加入 B : 保険については自己負担

(7) 地域担当者から一言

桐生の自然、生活、文化等を「体験」する中で、桐生の良さを感じてもらい、「住みたい」と思うまちづくりのための提言をお願いします。
また、一過性の受入で終わらせないため、より一層桐生との交流を深めてもらうため、新たに「地域交流事業(B)」として恒常的に若者の受け入れをします。是非一度、来て、見てください。

(8) お問い合わせ先

自治体名	桐生市	担当部署	産業経済部観光交流課交流促進係
(ふりがな)	あらい やすよ	TEL :	0277-46-1111 (内線 367)
担当者氏名	新井 八寿代	FAX :	0277-40-1283
E-mail :	kanko@city.kiryu.gunma.jp		
URL :	http://www.city.kiryu.gunma.jp		
応募宛先	〒376-8501 群馬県桐生市織姫町 1 番 1 号 桐生市観光交流課内 桐生市地域づくり交流事業実行委員会 宛		

若者の地方体験交流 募集概要
(費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

うえのむら
No.－14： 群馬県上野村 (人口：1,384人)

(1) 最寄りの交通機関と所要時間

私鉄 上信電鉄線 下仁田駅下車 上野村乗合タクシー ふれあい館下車

(2) 事業実施の目的等

今後の日本を担う若者に上野村の生活や文化等を知っていただき、上野村のファンや応援団となっていていただくほか、当村の住民が若者との交流を通して日頃気付いていない地域の良い点、悪い点に気づき、地域の今後のあり方を再考するきっかけ作りをするとともに、この体験が参加者の今後につながるようにしたい。

(3) 体験の内容

○村内で開催の各種イベント等への参加及び手伝い
○農業体験、福祉体験、菓子製造
○日帰り温泉施設、宿泊施設での業務 など

(4) 受入主体

上野村

(5) 受入期間

8月31日(金)～ 9月20日(木)
21日間

(6) 応募上の注意

※費用負担	現地までの交通費：自己負担 宿泊費：自己負担なし 食事代：自己負担なし
①要 件	農山村での田舎暮らしや地域活動等に興味のある方・やる気のある方
②応募締切り	平成24年7月2日(月) 必着
③宿泊施設	山のふるさと合宿「かじかの里学園」及び民泊
④食事形態	朝食・夕食は受入れ先で提供、昼食は弁当又は村内の飲食店にて提供
⑤そ の 他	動きやすい服装・靴の用意をお願いします。

(7) 地域担当者から一言

当村は過疎からの脱却のため、若い人の受入れや定住化に積極的に取り組んでいます。そのような状況や頑張っている姿を体感していただくとともに、村での生活を通じて地域住民との交流を深め、上野村の活性化のための意見や感想をいただければと思います。

(8) お問い合わせ先

自治体名 上野村	担当部署 事業部 企画財政課 企画係
(ふりがな) たかせ じゅんいち 担当者氏名 高 瀬 淳 一	TEL：0274-59-2111(内線)39 FAX：0274-59-2470
E-mail：takase-j@vill.ueno.gunma.jp	
URL：http://www.uenomura.ne.jp/	
応募宛先 〒370-1614 群馬県多野郡上野村大字川和11番地	

若者の地方体験交流 募集概要
(費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

ながおかし とちおちいき
No.- 1 5 : 新潟県長岡市 (栃尾地域) (人口 : 20,000 人)

(1) 最寄りの交通機関と所要時間

東京-長岡駅 (上越新幹線 約 100 分) 高速バス 池袋-長岡北 (約 250 分)
栃尾地域までは長岡駅からバスで約 50 分 (栃尾車庫前)

(2) 事業実施の目的等

- ・ 持続可能な中山間地集落づくり
- ・ 交流を通して地域資源の再発掘や活用
- ・ 都市農村交流のきっかけづくり

(3) 体験の内容

- ・ 栃尾地域の山間部の集落に 1~2 週間滞在し、地域の行事 (お盆のお祭り等) などへの参加
- ・ 実際に集落に滞在して生活文化の体験
- ・ 子供たちから高齢者まで幅広い世代の住民との交流
- ・ 地域資源を活用し 7 年前に起きた中越地震からの復興地域づくりを考える

(4) 受入主体

長岡地域復興支援センター 栃尾サテライト

(5) 受入期間

8 月 1 日 (水) ~ 8 月 20 日 (月)
20 日間 ※期間は応相談

(6) 応募上の注意

※費用負担	現地までの交通費 : 参加者負担 宿泊費 : 受け入れ側負担 食事代 : 参加者負担
①要 件	やる気のある大学生1年生~大学院生 (専門学校生含む) 募集人数 : 4 人 (最大 8 人程度)
②応募締切り	7 月 8 日 (日)
③宿泊施設	集落の公民館等又は、古民家
④食事形態	基本的に自炊 (昨年度実績 1 日 1 人 300 円程度※野菜やお米の提供あり)
⑤そ の 他	活動期間中は、ボランティア活動保険等の任意保険に各自入ってもらいます。

(7) 地域担当者から一言

地域の人たちと真剣に向き合い、語り合おうという意欲のある人と共に進める地域づくりを目指しています。やる気次第でいろいろなことに挑戦できるので意欲のある方を募集しています!

(8) お問い合わせ先

自治体名 新潟県長岡市	担当部署 栃尾支所地域振興課
(ふりがな) ふじた かつのり 担当者氏名 藤田 克則	TEL : 0258-52-5815 (直通) FAX : 0258-52-3990
E-mail : tco-chiiki@city.nagaoka.ne.jp	
URL : http://www.yamanokurashi.jp/shien/tochio/	
応募宛先 〒940-0298 新潟県長岡市金町 2-1-5 長岡市栃尾支所 3 階 長岡地域復興支援センター 栃尾サテライト	

若者の地方体験交流 募集概要

(費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

つなんまち

No.- 1 6 : 新潟県津南町

(人口 : 1 0 , 9 2 6 人)

(1) 最寄りの交通機関と所要時間

J R 飯山線 津南駅下車 越後交通 津南バス停下車

(2) 事業実施の目的等

- ・本物の田舎のぬくもり、暖かさを肌で実感して欲しい。
- ・若い方から新風を吹き込んで頂き、新しい発想、センスで町を元気にしたい。
- ・町の魅力を再発見し、津南を積極的に発信することで町を活性化を図りたい。

(3) 体験の内容

- ・農作業の手伝い(アスパラ、加エトマト、野沢菜、他の野菜収穫など)
- ・ひまわり広場開設中スタッフ(7月20日頃~8月盆まで)
- ・第5回 大地の芸術祭手伝い(7月29日~9月17日)
- ・観光イベント(祭り、他)
- ・観光PR
- ・商店街の活性化
- ・地域づくり事業全般

(4) 受入主体

(5) 受入期間

津南町役場地域振興課 グリーンツーリズム推進室

6月~12月 期間は要相談

(6) 応募上の注意

※費用負担	現地までの交通費・保険： 個人負担 宿泊費： 1泊2食 6,000円： 個人負担 食事代： 昼食は個人負担(作業先、作業内容によっては提供もあり。)
① 要 件	20歳以上35歳以下のやる気のある方。車の免許取得者。体験内容は要相談
②応募締切り	参加期間の2週間前 別紙申込書で申し込み下さい。
③宿泊施設	町内宿泊施設
④食事形態	町からの提供はなし。朝食・夕食は宿泊代に含まれます。昼食は基本的に各自負担。
⑤そ の 他	作業のできる服装、履物をご用意ください。

(7) 地域担当者から一言

日本一の豪雪地帯であり少子高齢化が進んでいる当町ですが、四季折々の自然が豊かで人情味たっぷりの町です。原風景の残る山間地の津南町の春は新緑の緑、夏はひまわりの黄色、秋は燃えるような紅葉の赤、冬はあたり一面が白銀の世界に変わり、色でも四季を感じてもらえます。また、ジューシーでスイーティーな春先の雪下にんじんから始まり山菜、あつま~いアスパラやスイートコーン、水々しい夏野菜、秋野菜・・・と、おいしい物もいっぱいある魅力的な町です。小さい町だからこそ出来る事もいっぱいあります。夢と希望をふくらませて一緒に津南町を元気にしてみたい方を募集しています。是非、一度お出で下さい、お待ちしております。

(8) お問い合わせ先

自治体名 津南町役場	担当部署 地域振興課グリーンツーリズム推進室 「津南をげんきにし隊」事務局
(ふりがな) たなかふみこ 担当者氏名 田中ふみ子	TEL : 025 - 765 - 3115 (課直通) FAX : 025 - 765 - 4625
E-mail : chiikishinko@town.tsunan.niigata.jp	
URL : http://www.town.tsunan.niigata.jp	
応募宛先 〒 9 4 9 - 8 2 9 2 新潟県中魚沼郡津南町大字下船渡戊585 津南町役場地域振興課グリーンツーリズム推進室 「津南をげんきにし隊」事務局 宛	

参 加 申 込 書

「津南をげんきにし隊」に以下のとおり参加申し込みいたします。

送付先：住所 〒949－8292 新潟県中魚沼郡津南町大字下船渡戊585
宛 先：津南町役場地域振興課 グリーンツーリズム推進室 田中
電 話：025－765－3115 f a x：025－765－4625
E-mail：chiikishinko@town.tsunan.niigata.jp

住 所	〒
氏 名	(ふりがな)
生 年 月 日	
所属大学又は機関	
—自己PR—	
—津南を選んだ理由、やってみたいこと—	

※ 在学証明書、又は保健証、免許証等のコピーを添付願います。

若者の地方体験交流 募集概要

(費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

No.- 1 7 : 新潟県

粟島浦村

(人口 : 338 人)

(1) 最寄りの交通機関と所要時間

JR 村上駅～(タクシー(乗合タクシー)～岩船港 15 分
岩船港～(粟島汽船)～粟島港 高速船 55 分 (普通船 90 分)

(2) 事業実施の目的等

- ・都会の若者に、粟島の暮らしを体験してほしい。
- ・都会の若者の、「粟島の暮らし」についての意見が聞きたい。
- ・将来的には、可能であれば、都会と粟島の橋渡しの役割を担ってほしい。
(橋渡し＝家族・親戚・友人・知人に紹介、遊びに来てもらう、一緒に遊びに来る、など)

(3) 体験の内容

『しまの生活まるごと体験』粟島にホームステイしませんか？
・ホームステイ先のお手伝い ※忙しい時は、家業の手伝いのみになってしまう日もあります
→家業の手伝い(民宿・食堂など)、島のばばとの農作業体験、漁師さんと漁業体験など
・地域行事の参加(七夕：8月7日、盆踊り：8月13～14日)
※観光的な『体験』ではありません

(4) 受入主体

(5) 受入期間

粟島浦村	7月下旬 ～ 8月下旬 のうちの14日間程度を予定
------	------------------------------

(6) 応募上の注意

※費用負担	現地までの交通費：補助あり(関東圏：2万円まで、それ以外：要相談) 船賃 3,660 円～7,380 円 (普通船(片道)1,830 円 高速船(片道)3,690 円) 宿泊費：0 円 食事代：0 円
①要 件	都市に暮らす若者
②応募締切り	7月中旬頃(希望者とは、順次、連絡を取っていき、定員に達し次第、締切らせていただきます)
③宿泊施設	ホームステイ(希望があれば、住居提供可)
④食事形態	受入先にて提供して頂きます。
⑤そ の 他	食費の自己負担はありません。

(7) 地域担当者から一言

粟島は、お米以外はほとんど自給自足。お米も、物々交換で賄ってしまう島です。魚も野菜も旬のものを食べるからうまい！都会の暮らしとは大違いな粟島の暮らし。そんな島の暮らしを体感してもらうには、ホームステイが一番！時には家の手伝いがすごく忙しいこともあります。ですが、忙しい時を島の人と共に分かち合うことで、島の人と打ち解け、いつしか家族のようになり、帰るころには涙がホロリ…なんてことも。体感することで、得られる気づきは、なにものにも替えがたいと思います。ぜひ、体で感じて、感じたままを伝えて下さい。多くの方の問い合わせ、お待ちしております。

(8) お問い合わせ先

自治体名 粟島浦村役場	担当部署 総務 課
(ふりがな) もりた まさと 担当者氏名 森田 真人	TEL : 0254-55-2111 (直通) FAX : 0254-55-2159
E-mail : project@vill.awashimaura.lg.jp	
URL : http://www.vill.awashimaura.lg.jp/	
応募宛先 〒958-0061 新潟県岩船郡粟島浦村字日ノ見山 1513-11	

若者の地方体験交流 募集概要

(費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

No.- 1 8 : 富山県南砺市

(人口：54,911人)

(1) 最寄りの交通機関と所要時間

平・上平地域：JR城端駅発＝加越能バス（40分）＝菅沼着

：名古屋駅発＝イルカ交通＝五箇山インター口着

利賀村地域：ＪＲ越中八尾駅発＝南砺市営バス（６０分）＝利賀行政センター着

(2) 事業実施の目的等

- ・ 農地の保全
- ・ 集落の維持
- ・ 伝統の継承

(3) 体験の内容

- ・茅（かや：合掌家屋の屋根の材料）の刈り取り

- ・五箇山和紙の原材料である楮の管理

・農作業

- ・集落維持管理活動のサポート（溝さらい、道路草刈、山道づくり、お宮掃除、屋根雪降ろし）

・地域住民との交流（祭り、民謡指導、山菜採り、イベント協力）

(4) 受入主体

(5) 受入期間

各地域の受入組織

(お問い合わせ時にマッチングします)

年間を通して受入

(6) 応募上の注意

※費用負担	現地までの交通費： 自己負担 宿泊費：公共施設は2, 000円より。民宿は4, 000円より。 食事代：基本的に、自己負担（受入組織によっては無料）
①要 件	大学生以上
②応募締切り	随時募集
③宿泊施設	公共施設、民宿
④食事形態	有料
⑤そ の 他	作業が出来る服装をご用意ください。

(7) 地域担当者から一言

五箇山地域は、世界遺産の合掌集落のほか、「こきりこ」や「むぎや」などの民謡文化、美しい景観、伝統が保たれている大切な地域です。しかしながら、過疎・高齢化、耕作条件の悪さから、農地の保全、集落の維持、伝統の継承が危機的状況に陥っています。私たちは、皆さんのパワーを必要としています。一方、五箇山で受ける刺激は、きっと皆さんの人生に大きな変化をもたらすものと確信しています。一緒に活動しましょう。どうぞ宜しくお願いします。

(8) お問い合わせ先

自治体名	南砺市（なんとし）	担当部署	産業経済部 農政課 特産振興係
（ふりがな）	とみた だいすけ	TEL :	0763-23-2016（直通）
担当者氏名	富田 大輔	FAX :	0763-62-2112
E-mail : tomita.daisuke@city.nanto.lg.jp			
URL : http://gazoo.com/g-blog/gokayama_mura010/index.aspx （「みんなで農作業の日」で検索）			
応募宛先	〒939-1892 富山県南砺市城端 1046		

若者の地方体験交流 募集概要
(費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

No.- 1 9 : ^{おおのし} 福井県大野市 (人口 : 36,568 人 (H24.2.1 現在))

(1) 最寄りの交通機関と所要時間

J R 北陸本線 福井駅下車 ⇒ J R 越美北線 越前大野駅下車 (60 分)

(2) 事業実施の目的等

農村において、地域の家庭（農家）に滞在しながら、従事されているお仕事をお手伝（ボランティア）していただき、田舎暮らしや様々な職業に興味を持ち、理解を深めていただくことを目標の一つとしています。

(3) 体験の内容

『ふるさとワークステイ』
特別な体験内容はありません。普段の農家の生活の中で必要なお手伝いをしていただきます。
例えば、農作物の収穫や地域イベントのお手伝い。冬には雪かきのお手伝いもあります。お手伝いの内容は滞在する農家によって異なります。
例）特産の里芋やネギの植え付け・収穫・出荷のお手伝い、田植え作業の補助、地域のお祭りのお手伝い、環境教育補助、古民家の清掃、作業小屋建築、雪かき

(4) 受入主体

奥越前まんまるサイト
(<http://www.okuetu-manmaru.com/index.htm>)

(5) 受入期間

時期：通年
期間：2泊以上（内容によるので要相談）

(6) 応募上の注意

※費用負担	現地までの交通費：自己負担、 宿泊費：1泊3,500円～（食事(朝・夕)代含む） 体験内容によっては宿泊費・食事代、その他費用がかかりますので、下記にお問い合わせください。
①要件	原則として18歳以上の方
②応募締切り	参加したい日の2週間前まで
③宿泊施設	農家若しくは研修館
④食事形態	宿泊農家先での食事か、自炊
⑤その他	

(7) 地域担当者から一言

一年を通じて、大野の自然や人の魅力をたっぷり活かした体験メニューを用意しています。受入農家さんと仲良くなって、この事業とは別に、それぞれで交流を進められている参加者もあり、大変好評をいただいています。体験内容や滞在期間は相談に応じます。意欲をもって来られる方であれば、未経験者大歓迎です。ぜひ参加いただき、大野の自然と人情に触れてみませんか。

(8) お問い合わせ先

自治体名 福井県大野市	担当部署 一般財団法人 越前おおの農林楽舎
(ふりがな) くぼ やすひろ 担当者氏名 久保 康博	TEL : 0779-66-1141 (直通) FAX : 0779-66-1142
E-mail : info@ono-gakusya.jp	
URL : http://www.ono-gakusya.jp/workstay/	
応募宛先 〒912-0084 福井県大野市天神町1番1号 大野市役所内	→平成24年4月1日より以下に変更 〒912-0082 福井県大野市大和町3番7号

若者の地方体験交流 募集概要
(費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

No.-20 : ^{さばえし} 福井県鯖江市 (人口: 68,885人) H24. 2. 1現在

(1) 最寄りの交通機関と所要時間

JR北陸線 鯖江駅下車 ⇒ つつじバス(コミュニティバス) うるしの里会館前下車 25分

(2) 事業実施の目的等

『鯖江にはすばらしいものがたくさんあってアナタに見つけてもらえるのを待っています』
鯖江市は、国内でも有数の眼鏡・漆器・繊維の3つの地場産業を持ち、それぞれに見学や体験が行える産業振興拠点が整備されています。また、近郊の農村では農作業体験や伝統行事への参加ができ、地域資源を満喫できる田舎暮らしプチ体験も可能です。鯖江を訪れ、地元の方々との交流を通じて鯖江ファンになっていただくことが目的のひとつです。

(3) 体験の内容

失われつつある田舎の魅力を再発見するお手伝いをしてみませんか。
・地域行事への参加と協力(伝統行事・11月や2月、歴史的町並みを活かしたアート展・9月)
・田舎暮らし体験(田植えと山菜採り・春、蛍鑑賞と流しそうめん・夏、そば打ちともちつき・秋、漬物づくりと草鞋づくり・冬など学校では教えてくれないコトが田舎にはたくさんあります)
・地場産業体験や伝統工芸士の工房見学ができます

(4) 受入主体

(財)農業公社グリーンさばえ

(5) 受入期間

時期: 通年(月に1回ペース)
期間: 内容によりますので一度お電話ください

(6) 応募上の注意

※費用負担	現地までの交通費: 自己負担 宿泊費・食事代: 内容によるので一度ご相談ください
①要件	原則として18歳以上の方
②応募締切り	参加したい期日の1週間前まで
③宿泊施設	農家および公民館もしくは市内宿泊施設
④食事形態	宿泊先での食事か共同自炊
⑤その他	

(7) 地域担当者から一言

鯖江市では、自由な発想、旺盛な行動力を持つ学生等の若者に焦点をあて、若者との連携を重点施策として捉えています。毎年、多くの学生等の若者が鯖江市を訪れ、インターンや市への施策提案、地域住民と交流を経験することにより、年々「鯖江ファン」が増加しています。是非、一度鯖江市を訪れ、鯖江の魅力を感じるとともに、地域活性化にあなたの力をお貸しください!

(8) お問い合わせ先

自治体名 鯖江市	担当部署 産業環境部 特産づくり応援室
(ふりがな) たけうち よういち 担当者氏名 竹内 陽一	TEL: 0778-53-2232 (直通) FAX: 0778-51-8153
E-mail: SC-Tokusan@city.sabae.lg.jp	
URL: http://www.	
応募宛先 〒916-8666 福井県鯖江市西山町13-1 鯖江市役所内 特産づくり応援室	

若者の地方体験交流 募集概要
(費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

No. 21 : 福井県坂井市 (人口 : 94,534人)

(1) 最寄りの交通機関と所要時間

JR北陸線 丸岡駅 (駅から現地までは送迎します)

(2) 事業実施の目的等

しだれ桜と大きな木製二連水車を起爆剤に地域の賑わいを追求している人情味あふれる中山間地。試行錯誤しながら邁進している竹田地区で地域活性化の一翼を担ってもらいたい。

(3) 体験の内容

地域の行事 (しだれ桜まつり)
里山探索 (山菜採り・溪流つり)
農業体験 (田おこし)

(4) 受入主体

竹田の里づくり協議会

(5) 受入期間

4月20日(金)～ 4月23日(月)
4日間

(6) 応募上の注意

※費用負担	現地までの交通費：自己負担 宿泊費：無料 食事代：無料
①要 件	健康でグリーンツーリズム等里山の自然を活かした地域づくりに興味関心があり、積極的に地域に溶け込み人間力を高めたいという意欲がある方
②応募締切り	4月18日(水)
③宿泊施設	体験宿泊施設 (いろいろの宿 なかがわ) または 竹田公民館
④食事形態	自炊 (食材は提供します)
⑤そ の 他	

(7) 地域担当者から一言

地元の子ども達にたくさんの友達と一緒に学校生活を送ってほしいという思いから、地域自らが竹田小学校の休校を希望した地域。また、20年前に植えたしだれ桜が見ごろを迎え、ライトアップしてイベント期間中6万人を超える見物客があり、地元住民が地域の活性化に盛り上がりを見せています。客観的に地域を観察して感じたことを発してほしい。

(8) お問い合わせ先

自治体名 福井県坂井市	担当部署 教育委員会 竹田公民館
(ふりがな) たけうち さくざえもん 担当者氏名 竹内 作左エ門	TEL : 0776-67-2543 (直通) FAX : 0776-67-2543
E-mail : takeda-k@city.fukui-sakai.lg.jp	
URL : http://www.city.fukui-sakai.lg.jp/takeda-k/	
応募宛先 〒910-0204 福井県坂井市丸岡町山竹田第119号3番地 竹田公民館	

若者の地方体験交流 募集概要
(費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

No.- 2 2 : ^{わかさちょう} 福井県若狭町 (人口 : 1 6 , 2 2 5 人)

(1) 最寄りの交通機関と所要時間

J R 小浜線 上中駅下車
J R バス 若江線 上中駅下車

(2) 事業実施の目的等

都市からの若者の就職・定住を促進し、集落を活性化することを大きな目標としています。

(3) 体験の内容

- ・ インターンシップ事業 (短期間の農業就業体験)
- ・ 体験学習事業 (農業体験)

(4) 受入主体

農業生産法人有限会社 かみなか農楽舎

(5) 受入期間

基本 通年 要問合せ

(6) 応募上の注意

※費用負担	現地までの交通費：自己負担 宿泊費：無料 食事代：無料 ※体験学習事業は上記の費用はすべて自己負担
① 要 件	やる気と元気がある若者
② 応募締切り	申込書・方法等があるので、その都度問合せ願います。
③ 宿泊施設	公共施設 (研修棟での共同生活)
④ 食事形態	公共施設内で共同自炊
⑤ そ の 他	農作業可能な服装を用意

(7) 地域担当者から一言

とにかく農業がしたい！そんなあなたにお勧めな町です。
やる気と元気がある若者の力をお待ちしています。

(8) お問い合わせ先

自治体名 若狭町	担当部署 産業課 特産振興販売室
(ふりがな) はらだ だいすけ 担当者氏名 原田 太輔	TEL : 0770-45-9102 (直通) FAX : 0770-45-9119
E-mail : sangyo@town.fukui-wakasa.lg.jp	
URL : http://www.town.fukui-wakasa.lg.jp	
応募宛先 〒919-1522 福井県三方上中郡若狭町末野 (若狭町農村総合公園) 農業生産法人有限会社 かみなか農楽舎	

若者の地方体験交流 募集概要
(費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

No.- 2 3 : こすげむら 山梨県小菅村 (人口 : 8 2 3 人)

(1) 最寄りの交通機関と所要時間

J R 青梅線 奥多摩駅下車 西東京バス 小菅行 余沢停留所	4 5 分
--------------------------------	-------

(2) 事業実施の目的等

- ・ 学生と村民をつなげることで、学生にも村民にも生き生きとした時間を過ごしてほしい。
- ・ より多くの大学とのつながりを作り、多くの学生の皆さんに村で活動してほしい。
- ・ 若い人に小菅村の魅力を知ってほしい。

(3) 体験の内容

- ・ 小永田熊野神社祭典の準備・練習・参加
- ・ 農作業、集落点検、集落ビジョンの検討など
- (その他必要・要望に応じて追加・変更)

(4) 受入主体

N P O 法人 多摩源流こすげ

(5) 受入期間

8 月 2 7 日 (月) ~ 9 月 1 1 日 (火)
1 6 日間

(6) 応募上の注意

※費用負担	現地までの交通費： 自己負担（新宿から電車とバスで片道約 2,000 円） 宿泊費： 不要、食事代： 各自
①要 件	・ 源流地域の地域づくりに興味があり、積極的に取り組める人 ・ 人とかかわることが好きな人
②応募締切り	締め切り： 7 月 2 日 (月) 必着 別添の参加申込書及び小論文に必要事項を記載の上、下記応募先まで郵送をお願いします。
③宿泊施設	受入側で準備
④食事形態	基本的に宿泊施設で自炊
⑤そ の 他	虫よけ・防寒のため長袖・長ズボンを用意してください。

(7) 地域担当者から一言

小菅村は 3 つの峠に囲まれた小さな谷合に位置する山村です。陽気で働き者の村民の皆さんや、村に移住してきた若者達と一緒に汗を流して、小菅村にあなたの「居場所」を作りませんか。

(8) お問い合わせ先

自治体名 小菅村	担当部署 N P O 法人 多摩源流こすげ
(ふりがな) もちづき てつお 担当者氏名 望月 徹男	TEL : 0428-87-7055 FAX : 0428-87-7057
E-mail : t-mochizuki@npokosuge.jp	
URL : http://www.vill.kosuge.yamanashi.jp	
応募宛先 〒 409-0211 山梨県北都留郡小菅村 1,911 N P O 法人 多摩源流こすげ	

若者の地方体験交流 募集概要
(費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

No.- 2 4 : 静岡県東伊豆町

ひがしいずちょう

(人口 : 1 4 , 0 6 4 人)

(1) 最寄りの交通機関と所要時間

伊豆急行線 伊豆稲取駅下車徒歩 5 分

(2) 事業実施の目的等

- ・若者の視点から当町への分析・提言を今後のまちづくりに活かしていきたい。
- ・地域住民との交流で新しい風を吹き込み地域を活性化したい。
- ・当町の魅力を肌で感じ広告塔的な役割を担っていただきたい。

(3) 体験の内容

主に観光振興に関する事業
観光イベントへの参加 (各種イベントの準備・運営)
農・水産業体験 (収穫作業、選別作業等)
その他 (その場に応じた事業体験)

(4) 受入主体

東伊豆町産業団体連絡会

(5) 受入期間

7 月下旬～8 月上旬 約 1 4 日間

(6) 応募上の注意

※費用負担	現地までの交通費：片道負担 宿泊費：無 食事代：昼食代は自己負担、朝食・夕食は自炊
①要 件	観光振興 (イベント運営) に興味があり、農林漁業を体験してみたい 2 0 歳以上の大学生。
②応募締切り	別紙申込シートにより 5 月下旬〆切 ※参加者は 2 名を予定しており、当方で審査し決定させていただきます。
③宿泊施設	町有施設
④食事形態	基本的に自炊
⑤そ の 他	過去 4 回の活動内容が東伊豆町 HP でご覧になれます。(まちづくり欄)

(7) 地域担当者から一言

若者の地方体験事業も今回で 5 年目を迎え、恒例事業として定着してきました。この事業で地域を肌で感じ、学生生活でしか味わえないものを体験してみませんか？海・山・温泉と自然に恵まれ“おもてなしの心”がモットーの東伊豆町で、エネルギッシュな若者の参加を心よりお待ちしております。

(8) お問い合わせ先

自治体名 静岡県 東伊豆町	担当部署 企画調整課 企画係
(ふりがな) えんどう かつや 担当者氏名 遠藤 克也	TEL : 0557-95-6202 (直通) FAX : 0557-95-0122
E-mail : kikaku@town.higashiizu.shizuoka.jp	
URL : http://www.town.higashiizu.shizuoka.jp/	
応募宛先 〒 413-0411 静岡県賀茂郡東伊豆町稲取 3354 東伊豆町企画調整課	

別紙

若者の地方体験交流 参加申込シート

静岡県 東伊豆町

氏名 (ふりがな) _____ 年 令 _____

住 所 〒 _____

連 絡 先 (Tel) _____

(E-mail) _____

所 属 _____ 大学 _____ 学部 _____ 学科

出 身 地 _____



顔写真

経歴（簡略に）

◎参加の動機

◎自己PR（自由に記述下さい）

若者の地方体験交流 募集概要
(費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

No.- 2 5 : 滋賀県栗東市^{りっとうし} (人口 : 6 5 , 8 5 6 人)

(1) 最寄りの交通機関と所要時間

栗東市役所まで
JR草津線 手原駅下車 徒歩 10 分

(2) 事業実施の目的等

- ①観音寺地区では、琵琶湖や比叡山を望む美しい眺望が楽しめる「天水の里 観音寺」での多様な交流事業への企画・実践等。とくに、定住促進を目指す観音寺での体験交流自体を通じて、今後の景観まちづくり活動に向けた話し合いをしたい。
- ②安養寺地区では、市役所周辺の中心市街地活性化に向け、花と緑によるコミュニティ・ガーデンづくりや、住民と商業者の連携企画等多様な角度での取組みを進めている。とくに、若者の視点での地域の魅力の創出に向け、意見交換やプロジェクトの企画・実践を進めたい。

(3) 体験の内容

- ①観音寺地区
・農林業での交流事業（間伐材での製品づくり、景観作物の農作業など）
- ②安養寺地区
・地元を中心とするまちづくりグループに参画しプロジェクトの企画・準備・実践など

(4) 受入主体

- ①観音寺：観音寺天水木族
②安養寺：安養寺景観まちづくり協議会

(5) 受入期間

通年
ご希望があれば相談に乗ります。

(6) 応募上の注意

※費用負担	現地までの交通費： 自費負担 宿泊費： 自費負担 食事代： 自費負担
①要 件	熱意
②応募締切り	随時
③宿泊施設	町施設、民宿等
④食事形態	自炊
⑤そ の 他	

(7) 地域担当者から一言

景観を切り口にした多様なまちづくり活動を展開しています。里山や農村集落に興味のある方は①に、ガーデニングやマーケティングなどに興味のある方は②の地域で、若い力を存分に発揮してみてください。

(8) お問い合わせ先

自治体名 栗東市	担当部署 建設部都市計画課 景観まちづくり係
(ふりがな) たけやまかずひろ 担当者氏名 竹 山 和 弘	TEL : 077-551-0116 (直通) FAX : 077-552-7000
E-mail : takeyama-kazuhiro@city.ritto.lg.jp	
URL : http://www.city.ritto.shiga.jp/	
応募宛先 〒 520-3088 滋賀県栗東市安養寺一丁目 13 番 33 号	

若者の地方体験交流 募集概要
(費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

かわかみむら
No. 26 : 奈良県川上村 (人口 : 1, 777人)

(1) 最寄りの交通機関と所要時間

近鉄吉野線 大和上市駅下車 奈良交通バス 川上村役場前下車
所要時間 : 大和上市駅よりバスで約30分

(2) 事業実施の目的等

山村での生活経験のない若者に体験機会を提供し、外部から見た川上村の取り組みについて提案・提言をしていただき、「水源地のむらづくり」に活かしていきたい。

(3) 体験の内容

- ・ 林業体験 (間伐や樽丸作り等、吉野林業の歴史を学ぶ)
- ・ 地域のイベントへの参加・手伝い (盆踊り等)
- ・ 森と水の源流館 臨時スタッフ (環境教育について学ぶ)
- ・ 達っちゃんクラブ 臨時スタッフ (自然体験型イベントの準備・実施)

(4) 受入主体

川上村

(5) 受入期間

8月上旬～8月中旬 14日間

(6) 応募上の注意

※費用負担	現地までの交通費 : 自己負担 宿泊費 : 1日500円 ※費用相当分の賃金支給有り
①要 件	水源地のむらづくり交流ネットワークに興味のある方
②応募締切り	7月12日(木) 必着 ※指定の参加申込書に必要事項を記入の上、担当者まで郵送をお願いします。 定員を超えた場合は審査を行いますので、18日(水)を予定に連絡します。
③宿泊施設	交流・滞在の家
④食事形態	基本的には自己負担 (昼食は弁当を準備します)
⑤そ の 他	詳細は担当者にお問い合わせ下さい。 川上村地域づくりインターンHPもご覧下さい。

(7) 地域担当者から一言

川上村は奈良県の南東部に位置し、日本三大人工美林の一つ「吉野杉」で有名な村です。そんな山間の村ではありますが、水源地のむらづくりや林業体験、芸術体験など、都会では体験できない内容を計画しています。私たちと一緒に新しい地域づくりに取り組んでみませんか。

(8) お問い合わせ先

自治体名	川上村	担当部署	水源地の村づくり課
(ふりがな)	はせ よしたか	TEL :	0746-52-0111 (内線) 21
担当者氏名	長谷 良敬	FAX :	0746-52-0345
E-mail : suigenchi@vill.nara-kawakami.lg.jp			
URL : http://vill.kawakami.nara.jp/intern (川上村地域づくりインターンHP)			
応募宛先	〒639-3594 奈良県吉野郡川上村迫 1335-7		

若者の地方体験交流 募集概要

(費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

No.- 2 7 : 和歌山県紀美野町 きみのちょう (人口 : 10,561人)

(1) 最寄りの交通機関と所要時間

JR きのくに線海南駅から大十オレンジバス終点登山口下車、コミュニティバスで紀美野町国吉診療所前へ 海南駅から登山口まで約 30 分 登山口から国吉診療所前まで 26 分

(2) 事業実施の目的等

過疎化・高齢化が進む紀美野町が元気になるように
里山体験・交流施設「セミナーハウス未来塾」が活気づくように
一緒に汗をかきながらアイデアを注入してくれる皆さんを募集します。

(3) 体験の内容

①セミナーハウス未来塾の仕事全般 ②セミナーハウス未来塾周辺の町有林の保全
③自然体験、野外活動などの企画、サービス提供 ④レクリエーションプログラムの企画、提供
⑤農村、里山の情報発信 ⑥エリアツーリズムインフォメーションの整備 など

(4) 受入主体

紀美野町セミナーハウス未来塾
(<http://www.kimino.jp/miraijuku/>)

(5) 受入期間

7月1日(日)～ 9月2日(日)
64日間 ※期間については要相談

(6) 応募上の注意

※費用負担	現地までの交通費：自己負担 宿泊費：無料 食事代：食事形態欄を参照
①要 件	○仲間と話し合ってアイデアを出し一緒に行動できる人 ○健康で自然が好きな人 (できれば運転免許を持っている人)
②応募締切り	滞在開始希望日の3週間前まで 指定の参加申込書に必要事項を記入の上、受入団体まで郵送して下さい。
③宿泊施設	紀美野町セミナーハウス未来塾
④食事形態	滞在期間中はまかない料理を提供 (提供できない場合は当館規定金額を支払います。自炊可。)
⑤そ の 他	2週間(最低でも10日)以上の滞在者を希望します。

(7) 地域担当者から一言

大自然の山里で心を込めた精一杯の接客体験と
自らのアイデアで過疎化の地域を活性化する体験が得られますよ！

(8) お問い合わせ先

自治体名 紀美野町	担当部署 紀美野町セミナーハウス未来塾
(ふりがな) ひらい つぐじ 担当者氏名 平井 二嗣	TEL : 073-498-0521 (直通) FAX : 073-498-0531
E-mail : miraijuku@kimino.jp	
URL : http://www.kimino.jp/miraijuku/	
応募宛先 〒640-1363 和歌山県海草郡紀美野町田 25 番地 紀美野町セミナーハウス未来塾 (平井宛)	

若者の地方体験交流 募集概要
(費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

ひ だかがわちょう
No. 28 : 和歌山県日高川町 ゆめ倶楽部 21 (人口 : 10,848 人)

(1) 最寄りの交通機関と所要時間

- ・電車 : JR「御坊駅」まで、新大阪駅から約100分。「御坊駅」から約30分。
(御坊南海バス日高川線「高津尾」下車。徒歩5分)
- ・車 : 大阪市内から約2時間。(近畿自動車道経由・川辺IC下車。約20分)

(2) 事業実施の目的等

- ・関西の田舎暮らし・人気 No.1 の町で、地域づくりに参加しませんか？
日高川町には、不定期で地元学生が調査や農作業の手伝いに来て、新しい視点や提案により地域活性化につながっています。多くの学生さんに新たな提案・活躍をしていただきたい。また、大学生の合宿や研修誘致の際ご活躍いただきたいと思います。

(3) 体験の内容

- ・体験型観光のインストラクター補助(下駄づくり、間伐体験、農家民泊などのお手伝い)
- ・日高川町のPR(資料づくり、ホームページ・ブログの更新など)
- ・農業支援や地域行事の支援による、地域活性化の手助け(集落自治のままならない地域にて、一人暮らしの方のお手伝いなど)

(4) 受入主体

(5) 受入期間

日高川町 ゆめ倶楽部 21	1年中いつでも！ (できれば1週間以上～。)
---------------	---------------------------

(6) 応募上の注意

※費用負担	現地までの交通費 : 1/2 補助 宿泊費 : 1/2 補助 食事代 : 自己負担
①要 件	特になし。 大学生及び大学院生で、田舎や人とのふれあいが好き、研究意欲が旺盛な方。
②応募締切り	特になし。随時ご応募ください。
③宿泊施設	農家民泊「風呂谷ヴィレッジ」(1泊3千円) ほか
④食事形態	朝食・夕食は自炊、または農家さんと一緒につくる。
⑤そ の 他	作業ができる服装をご用意ください。

(7) 地域担当者から一言

日高川町の自慢は、大阪方面からの移住者が約170名いること。そして自然体験プログラムが約60種類と豊富で、小中学生に人気です。受入団体「ゆめ倶楽部21」が、住民と役場が力を合わせて活動中。元気なおじちゃん・おばちゃんと一緒に活動しませんか？

(8) お問い合わせ先

自治体名 和歌山県日高郡日高川町	担当部署 ゆめ倶楽部 21 (まちみらい課内)
(ふりがな) とね やすふみ 担当者氏名 戸根 康文	TEL : 0738-54-0338 (直通) FAX : 0738-54-0174
E-mail : yumecub@town.hidakagawa.lg.jp	
URL : http://www.town.hidakagawa.lg.jp/yumecub/ (「ゆめ倶楽部21」で検索)	
応募宛先 〒644-1122 和歌山県日高郡日高川町高津尾718-3	

若者の地方体験交流 募集概要
(費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

No.- 2 9 : 島根県おおなんちょう邑南町

(人口 : 1 1 , 9 5 9 人)

(1) 最寄りの交通機関と所要時間

広島駅から中国浜田道経由 高速バス瑞穂 I C 下車
※瑞穂 I.C まで送迎します

(2) 事業実施の目的等

邑南町では、様々な世代、職業、地域の方からの意見を町づくりに活かす取り組みを行っています。「若者の地方体験交流」で来町された方は、民家に泊まり、家業(農作業)や地域イベントなどのサポートをしていただきます。それらの経験を滞在期間中にまとめて、最終日に「邑南町への提言」として、発表していただきます。

(3) 体験の内容

小学生のふるさと体験活動(野外活動)のサポート
田舎ツーリズムツアーの企画、運営補助
農作業体験(稲刈り、農畜産物・野菜収穫出荷、産直市運営サポート等)

(4) 受入主体

邑南町

(5) 受入期間

7月23日(月)~9月20日(木)の間の概ね15日間

(6) 応募上の注意

※費用負担	現地までの交通費： 自己負担 宿泊費、朝・夕食費は、当町で負担します
①要 件	グリーン・ツーリズム、農業、町づくり等に興味・関心のある方
②応募締切り	平成 24 年 7 月 10 日(火)
③宿泊施設	農家民泊、農家民宿
④食事形態	昼食費は自己負担(状況による)
⑤そ の 他	

(7) 地域担当者から一言

「提言」を堅苦しく捉えず、滞在中の「気づき」を発表してください。まずは、邑南町での暮らし、民泊のおじちゃん、おばちゃん、住民との交流を楽しむことを第一の目的として、気楽な気持ちでください。

(8) お問い合わせ先

自治体名	邑南町	担当部署	商工観光課
(ふりがな)	ひだか はじめ	TEL	: 0855-95-2565(直通)
担当者氏名	日高 始	FAX	: 0855-95-0223
E-mail : hidaka-hajime@town.ohnan.lg.jp			
URL : http://www.town.ohnan.lg.jp			
応募宛先	〒696-0192 島根県邑智郡邑南町矢上 6000 番地 邑南町役場 商工観光課		

若者の地方体験交流 募集概要
(費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

No.- 30 : 山口県^{ながとし}長門市 (人口 : 38,764 人)

(1) 最寄りの交通機関と所要時間

JR山陽新幹線 新山口駅又は厚狭駅下車 JR美祢線 長門湯本駅下車
サンデンバス 長門湯本駅-俵山公民館前 20分

(2) 事業実施の目的等

都市の若者の受入や地域住民との交流等を通じて、外部の若者から見た地域評価をいただくことにより、地域活性化を図るとともに、地域の特色を活かした体験交流プログラムの開発を行なうことを目的とする。

(3) 体験の内容

- ・ 農作業体験や集落点検調査の実施
- ・ 公民館活動への参加（地域住民との交流、スポーツ活動）
- ・ 温泉、旅館等での接客体験
- ・ 地域づくりの広報宣伝活動に参加（フリーペーパー、情報誌、ホームページ等）

(4) 受入主体

NPO法人 ゆうゆうグリーン俵山

(5) 受入期間

8月 上旬 ～ 8月 下旬
14日間程度 (詳細は参加学生と調整)

(6) 応募上の注意

※費用負担	現地までの交通費：自己負担 受入費用：3万円（宿泊費・食事代・保険代・作業費込み）
①要 件	都市と農村の交流（グリーンツーリズム）に興味のある方
②応募締切り	平成24年 7月 6日（金） 必着
③宿泊施設	温泉旅館とホームステイの併用
④食事形態	原則として、宿泊先で用意します。（費用負担は受入費用に含む）
⑤そ の 他	

(7) 地域担当者から一言

受入地域となる俵山地区は、夏でも涼しく、人も自然もマイナスイオンたっぷりの昭和風情が今も残る温泉地域です。現在、NPO法人が主体となった俵山公国を発足させ、小さな政府目指して活動中です。地域住民と一緒に考え、あなたのフレッシュな意見を求めています。
その他、海上アルプス青海島や金子みすゞ記念館、香月泰男美術館など見所たっぷりです。

(8) お問い合わせ先

自治体名 山口県 長門市	担当部署 企画総務部 企画政策課 企画調整係
(ふりがな) さかた まさかず 担当者氏名 坂田 正和	TEL : 0837-23-1229 (直通) FAX : 0837-22-0135
E-mail : chosei@city.nagato.lg.jp	
URL : http://www.city.nagato.yamaguchi.jp/ http://www.tawarayama.jp/	
応募宛先 〒 759 - 4192 山口県長門市東深川 1339 番地 2	

若者の地方体験交流 募集概要

(費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

No. - 3 1 : 徳島県^{みなみちよう}美波町 (人口 : 7, 895人)

(1) 最寄りの交通機関と所要時間

J R 牟岐線 日和佐駅下車 徒歩 15 分

(2) 事業実施の目的等

地域づくりや地域活性化の取り組みに関心を持ち、美波町が取り組む種々の施策に参画を希望する若者を迎え入れ、地域での様々な取り組み、各種交流事業等に関わってもらうことで地域や地域住民の刺激とするほか、体験終了後は美波町のサポーターとして町や地域との良い関係を構築してもらうことを期待します。

(3) 体験の内容

- ・ 地域の漁業、農業体験
- ・ 地域での滞在及び地域内各種行事等への参加及び交流
- ・ うみがめ博物館でのうみがめ飼育の手伝い
- ・ 地域主導の都市・地域間の交流事業への参加

(4) 受入主体

美波町

(5) 受入期間

7 月下旬～8 月下旬での 14 泊 15 日を予定
※参加学生の方と相談し日程を決定します。

(6) 応募上の注意

※費用負担	現地までの交通費：美波町負担（最寄りターミナル駅もしくは空港から美波町まで） 宿泊費：美波町負担 食事代：「④食事形態」のとおり
①要 件	・ 地域づくり、観光振興に興味のある方 ・ 体験最終日に体験発表会及び、終了後レポートの提出（広報「みなみ」に掲載します。）
②応募締切り	平成 24 年 6 月 30 日（※当日消印有効） ※別添募集参加申込書・小論文記入用紙に記載の上、担当まで郵送。
③宿泊施設	ホームステイ、宿泊施設（国民の宿）、美波町体験活動施設、各地区交流体験施設を予定
④食事形態	原則：朝・昼・夕食は自炊等自己負担 ※ホームステイ・国民の宿の朝夕食は提供予定（美波町負担）。
⑤そ の 他	・ 申込前に担当までご連絡ください。 ・ 動きやすく、汚れてもいい服装が必要です。

(7) 地域担当者から一言

NHK 朝の連続テレビ小説『ウェルかめ』の舞台地で、海・山・川の自然豊かな町です。そんな町の新しい地域資源を共に発見しましょう。地域づくり活動も盛んな地域ですので、是非若い方の活力を美波町に！不明な点等があれば事前にご連絡をください。

(8) お問い合わせ先

自治体名 美波町	担当部署 総務企画課
(ふりがな) カガモ ヨシコ 担当者氏名 永本 嘉彦	TEL : 0884-77-3611 (直通) FAX : 0884-77-1666
E-mail : somu@town.minami.lg.jp	
URL : http://www.town.minami.tokushima.jp	
応募宛先 〒779-2395 徳島県海部郡美波町奥河内字本村 18 番地 1	

若者の地方体験交流 募集概要

(費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

お ぢ か ち ょ う

No.- 3 2 : 長崎県小値賀町

(人口 : 2, 8 6 8 人)

(1) 最寄りの交通機関と所要時間

【福岡市博多港より】 野母商船「フェリー太古」にて5時間半(23:30発 朝5:00着)
 【長崎県佐世保市より】 九州商船「フェリーなるしお」にて約3時間(1日2便)
 九州商船高速船「シークイーン」にて1時間40分(1日2便)

(2) 事業実施の目的等

若者(学生)が長期にわたり、地域の特色を活かした島暮らし体験や交流プログラムへの参加を通じて、地方の良さを知ってもらいつつ、外部から見たフレッシュな感覚で小値賀町における取り組みに対して提言・評価を行ってもらいたいと思います。また同時に小値賀町にとっても、都市の若者の受入や交流を通じて、地域の活性化やUターン促進のきっかけづくり等に役立てるという目的で実施します。

(3) 体験の内容

- ・農業、漁業、福祉事業などの体験(稲作、イサキの夜釣り体験、老人ホーム職場体験等)
- ・当町の観光拠点でもある「野崎島」にて、キャンプリーダーや自然体験活動等の体験
- ・当町が進めている「古民家再生事業」についての体験・研修
- ・島ならではの文化や民泊の体験、ペーロン大会・夏祭り等のイベントへの参加
- ・島の若者や、各産業との意見交換

(4) 受入主体

小値賀町

(5) 受入期間

8月上旬～ 9月上旬
約1ヶ月間を予定

(6) 応募上の注意

※費用負担	現地までの交通費：自己負担 宿泊費：なし(町が負担) 食事代：原則自己負担。交流会費については一部負担あり 体験料：町より体験料の助成あり
①要 件	島暮らしに興味がある方、第一次産業と観光の連携に興味がある方で何事にも積極的に参加し、自論を人前で発表できる方
②応募締切り	6月29日(金)必着 ※別添の募集参加申込書・小論文記入用紙に必要事項を記載の上、担当者まで郵送をお願いします。
③宿泊施設	セミナーハウス(町宿泊施設)・民泊・野崎島自然学塾村など
④食事形態	・基本的に自炊(共同調理) ・民泊では、民泊家族と朝・夕を一緒に料理
⑤そ の 他	

(7) 地域担当者から一言

今までインターンで来た学生たちは「小値賀中毒症」になって帰って行きました。この町(島)には一度来ると病み付きになる大自然・美味しい魚や野菜、そして何より家族のようにあたたかい島民がたくさんいます。今まで出来なかったような体験を通して、あなたのフレッシュな感覚を、あすの小値賀の町づくりに活かしてみませんか！

(8) お問い合わせ先

自治体名	小値賀町	担当部署	総務課自立推進班
(ふりがな)	なかの たかき	TEL :	0959-56-3111(代表)
担当者氏名	中 野 高 樹	FAX :	0959-56-4185
E-mail :	な nakano-takaki@ojika.net		
URL :	http://www.ojika.net		
応募宛先	〒857-4701 長崎県北松浦郡小値賀町笛吹郷2376番地1		

若者の地方体験交流 募集概要
(費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

おぐにまち
No. - 3 3 : 熊本県小国町

(人口 : 8, 000人)

(1) 最寄りの交通機関と所要時間

J R阿蘇駅からバスで1時間
J R博多駅からバスで2時間半

(2) 事業実施の目的等

若い世代の外部からの感性を町に取り入れる。

(3) 体験の内容

1. 町内の農産物直売所の販売企画提案や看板作成。
2. 当事業の宿泊施設内に遊具の作成。(子どもを対象とした自然学校等で活用予定)
3. 町内で飲食店を営む若手グループが開催するイベントへのスタッフ参加。
4. 小学校廃校跡地等の公共財産の利活用検討

(4) 受入主体

(財) 学びやの里

(5) 受入期間

8月中旬～ 9月上旬
約16日間

(6) 応募上の注意

※費用負担	現地までの交通費：自己負担 宿泊費：無料 食事代：自己負担（1～1.5万円程度）
①要 件	創造力と機動力を持った明るく元気な学生
②応募締切り	平成24年5月31日
③宿泊施設	研修宿泊施設 木魂館（もっこんかん）
④食事形態	基本的に自炊
⑤そ の 他	

(7) 地域担当者から一言

当町、当施設にはこれまでも数多くの学生がインターンに訪れ、その後も交流の輪が広がっています。農村の地域づくりや生活に興味のある学生を待っています。

(8) お問い合わせ先

自治体名 小国町	担当部署 情報課 企画係
(ふりがな) はせべだいすけ 担当者氏名 長谷部大輔	TEL : 0967-46-2113 (直通) FAX : 0967-46-4980
E-mail : daisuke@town.kumamoto-oguni.lg.jp	
URL : http://www.manabiyanosato.or.jp/	
応募宛先 〒869-2592 熊本県阿蘇郡小国町宮原 1567-1 小国町役場情報課	

若者の地方体験交流 募集概要

(費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

No. 34 : 大分県大分市 おおいたし (人口 : 476,707人)

(1) 最寄りの交通機関と所要時間

[空]東京(羽田)・大阪(伊丹)・名古屋(中部国際)→大分空港 市中心部までエアライナーで 60 分
[電車]JR 大分駅下車、日豊本線・博多から約 2 時間 豊肥本線・熊本から約 3 時間 久大本線・久留米から約 2 時間 20 分 [高速バス]博多バスターミナルから約 2 時間 30 分 [車]大分自動車道大分 IC 下車、市中心部まで約 10 分 ※大分市役所から受入れ地区まで車で約 50 分

(2) 事業実施の目的等

援農ボランティアをととして、地域農業への理解を深めてもらう。

(3) 体験の内容

施設園芸作物の収穫・調整作業、椎茸のホダ木立てやコマ打ち等作業、その他の農作業

(4) 受入主体

野津原のびるの会(認定農業者グループ)

(5) 受入期間

2 月 ~ 3 月にかけての 1 週間程度

(6) 応募上の注意

※費用負担	交通費：自己負担 宿泊費：原則無料 食事代：自炊分は自己負担 ※ボランティア保険は、受け入れ側にて負担します。
①要 件	3 大都市圏居住の大学生グループ(研究室やサークル)で 3~10 名程度 農業や農村(中山間地域)に興味のある健康な人
②応募締切り	平成 24 年 11 月 30 日(金)
③宿泊施設	受入れ農家 及び 公共宿泊施設(旧中学校施設)
④食事形態	受入れ農家では農家が用意、公共宿泊施設では自炊となります。
⑤そ の 他	JR 大分駅から現地まで送迎可能です。 但し、希望多数の場合は、受け入れ出来ない場合もあります。

(7) 地域担当者から一言

市内農村地域では、年々、高齢化の進行や後継者がいない等の問題が深刻化しており、健全な農業環境を維持していくことが困難な状況に現実化しています。そのような中、農村のありのままの一日を実体験してもらい、農業者との家族的な付き合いや、協働作業等を通じ、農業・農村の魅力と厳しさ、農産品への愛着など、日々の暮らしにはない、新たな発見と感動が生まれ、多くの参加者にとって「第二のふるさと」になることを期待しています。

農村の生活を直に肌で感じていただき、体験をしていただくとともに、是非、参考意見や斬新な発想を教えていただければ、と考えています。

(8) お問い合わせ先

自治体名 大分市	担当部署 商工農政部 産業振興課 地域産業育成係
(ふりがな) はら のりあき 担当者氏名 原 範 明	TEL : 097 (537) 7025 (直通) FAX : 097 (533) 6117
E-mail : sangyosinko2@city.oita.oita.jp	
URL : http://www.city.oita.oita.jp/www/contents/1205892953174/index.html	
応募宛先 〒870-8504 大分市 荷揚町 2 番 3 1 号 大分市役所 産業振興課 まるごと田舎暮らし体験事業担当者 宛	

若者の地方体験交流 募集要項
(費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

No. 35 : 宮崎県西米良村 (人口 : 1, 241人)

(1) 最寄りの交通機関と所要時間

J R 日豊本線 宮崎駅下車 宮崎交通バス 約 150 分 村所駅バス停下車

(2) 事業実施の目的等

都市部の方に、村の仕事やイベント等、様々な活動を通して村民と交流を持っていただくことで、地域の活性化を図りたい。
体験者の方には、村の生活・習慣・イベント等について、外からの目線を活かし、率直な感想を聞かせてほしい。

(3) 体験の内容

ワーキングホリデー制度体験 (ほおずき・ピーマン収穫、ゆず加工品づくり)
村内開催の各種イベント・行事参加 (運営協力・スタッフの場合もあり)
温泉ボランティア (朝風呂会)

(4) 受入主体

農家、(株)米良の庄、集落、西米良村役場

(5) 受入期間

7 月下旬～9 月下旬 14 日間

(6) 応募上の注意

※費用負担	現地までの交通費、食費 (原則自炊)、宿泊費は自己負担 宿泊費は担当者にお問い合わせください。
①要 件	田舎や農作業に興味のある方 (作業用の服装要準備)
②応募締切り	7 月上旬 別添の募集参加申込書・小論文記入用紙に必要事項を記載の上、担当者まで郵送をお願いします。
③宿泊施設	「双子キャンプ村コテージ」又は「小川民話の宿コテージ」
④食事形態	基本的に自炊 (隣接の温泉施設等で食事可能)
⑤そ の 他	

(7) 地域担当者から一言

豊かな自然の中でいきいきと心豊かに暮らす村民との触れ合いを楽しんでください。村民一人一人が真剣に地域の元気づくりに取り組んでいます。みなさんのフレッシュなご意見をお聞かせください。

(8) お問い合わせ先

自治体名 西米良村	担当部署 総務企画課 交流推進グループ
(ふりがな) 担当者氏名 富高 麻美	TEL : (0983) 36-1111 (内線) 25 FAX : (0983) 36-1207
E-mail : a-tomitaka@vill.nishimera.lg.jp	
URL : http://www.nishimera.jp/	
応募宛先 〒881-1411 宮崎県児湯郡西米良村大字村所 15 番地	

若者の地方体験交流 募集概要
(費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

みなみあいづまち
No.－36： 福島県南会津町 (人口：18,231人)

(1) 最寄りの交通機関と所要時間

会津鬼怒川線 会津田島駅 バス30分

(2) 事業実施の目的等

地域ブランド「南郷トマト」の産地です。栽培のお手伝いから選果出荷まで体験をして頂きます。新規就農の施策に早くから取組む、町・ＪＡ・生産組合等の充実した支援内容について幅広い見識により評価を頂きＰＲをしていただきたいと思います。

(3) 体験の内容

農業体験（南郷トマト栽培全般）

民宿のせがれ体験 集落支援員の手伝い 直売所体験 希望する名所巡り

(4) 受入主体

南会津町

(5) 受入期間

8月上旬～10月上旬 4日程度

(6) 応募上の注意

※費用負担	現地までの交通費：参加者負担 宿泊費：なし 食事代：なし
①要 件	体験報告できる方 7名程度
②応募締切り	随時受付 (指定の参加申込書に必要事項を記入の上、連絡をお願いします)
③宿泊施設	民宿
④食事形態	民宿で提供
⑤そ の 他	作業ができる服装、着替え、洗面道具、タオルなどを準備してください。

(7) 地域担当者から一言

“絆”という言葉が流行語になっていますが、“絆”の基本となる「よりどころ・縁」が結ばれるよう地域住民の方々との交流やふれあいの場を持ち、今後南会津町と繋がりが持てる、そんな充実した体験期間となるような企画を考えております、この機会に是非南会津町へお越し下さい。

(8) お問い合わせ先

自治体名 南会津町	担当部署 南郷総合支所 振興課 農林建設係
(ふりがな) たちばな かずあき 担当者氏名 橘 一明	TEL：0241-72-2113(直通) FAX：0241-72-2002
E-mail：kazuaki-t@minamiaizu.Org	
URL：http://minamiaizu.org	
応募宛先 〒967-0611 福島県南会津郡南会津町山口字村上864	

若者の地方体験交流 募集概要

(費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

No. 37 : ^{みやぎけんくりはらし}宮城県栗原市 (人口 : 75,560 人)

(1) 最寄りの交通機関と所要時間

JR 東北新幹線：くりこま高原駅下車 徒歩0分（東京から2時間30分）
 高速バス：東日本急行 高速バス「仙台、栗原市金成庁舎前線」くりこま高原駅下車徒歩0分
 （仙台から約1時間20分）

(2) 事業実施の目的等

栗原市では、地域資源を活用した「くりはら田園観光都市」の創造に取り組んでいます。本事業では、学生の皆さんと一緒に地域の資源を探したり、体験したりしながら、地域の人々の暮らしを体感する「くりはらツーリズム」のスガタを研究します。
 さらに、グリーンツーリズムを始め、ツーリズムに関心の高い市民が学生を受け入れることで、経験や知識を学べる機会とします。

(3) 体験の内容

季節に応じて、農業や林業などの作業や地域の暮らしの行事を体験します。また、地域資源を地元スタッフと一緒に調査します。その他、季節に応じてメニューを設定します。
 例：農作業体験…田んぼ、畑、果樹園等で作業体験 林業体験…森林や竹林等での作業体験
 地方の暮らし体験…地方に伝わる家庭の行事体験 その他…資源調査、直売所でのお手伝い等

(4) 受入主体

- ・くりはら研究所（栗原市産業経済部田園観光課）
- ・くりはらツーリズムネットワーク

(5) 受入期間

- ① 8月中旬 3泊4日
- ② 9月中旬 3泊4日

(6) 応募上の注意

※費用負担	現地までの交通費：参加者 宿泊費：受入主体 食事代：受入主体・一部自己負担
①要件	・大学生、大学院生（都市、地方は問いません） ・地方、田舎に関心のある人
②応募締切り	・各回1カ月前 ※各回4～8人程度を予定
③宿泊施設	・民泊 ・宿泊施設
④食事形態	・受入先で提供 ※昼食は一部自己負担あり
⑤その他	・動きやすく、作業できる服装・シューズをご用意ください

(7) 地域担当者から一言

栗原市は、面積800平方キロメートルの約8割が森林、原野、田畑で占められていて、自然が豊かで、田園風景が広がる場所です。広い栗原で、地方の暮らしや農作業を体験しながら、市民との交流を楽しみましょう。

(8) お問い合わせ先

自治体名 宮城県栗原市	担当部署 くりはら研究所（産業経済部田園観光課観光企画係）
(ふりがな) しらとり ゆか 担当者氏名 白鳥 裕香	TEL : 0228-22-1151 (直通) FAX : 0228-23-5370
E-mail : kanko@kuriharacity.jp	
URL : http://www.kuriharacity.jp/kuriharacity/contents/work/kankoproject.html	
応募宛先 〒989-5612 宮城県栗原市志波姫新熊谷284番地3（くりこま高原駅内）	

平成24年 月 日 現在

募集地域参加申込書

写真

無帽・上半身のもの

(写真の裏に氏名を明記)

1. お名前：ふりがな (男・女)

2. 生年月日：西暦 年 月 日 (出身地：)
* 都道府県で記入

3. (大学、大学院、専門学校等に在学の場合に記入)
学校、学部名： () 年

* 学部、学科、専攻などを明記してください(在学中の方は学年も記入してください)。

研究テーマ等：

* 卒論または現在研究中のテーマがある場合は記入してください。

4. 資格・特技・趣味など(選考の参考になりますので、体験内容に係るものは必ず記入してください。)

5. 自己PR

6. 住 所
〒 —

連絡先：選考などに関して、募集地域などから連絡を行う場合があります。

(『Eメール(携帯)』で、ドメイン指定受信を設定している場合、希望するNo.自募集地域からのメールが受信できるようあらかじめ設定をお願いいたします。)

電話(自宅)： Eメール(PC)：

電話(携帯)： Eメール(携帯)：

◆小論文記入用紙◆

テーマ：①インターン事業に期待すること ②地域に対して自分が貢献できそうなこと

氏名：_____

① インターン事業に期待すること

②地域に対して自分が貢献できそうなこと（例、得意技、得意テーマ、体力、熱意など）

*各テーマ400字程度でまとめてください。
*できるだけワープロ打ちをお願いします。（貼付又は別紙可）

連絡先

国土交通省 国土政策局 地方振興課

〒100-8918 千代田区霞ヶ関2-1-3

電話：03-5253-8404 FAX：03-5253-1588

URL：http://www.mlit.go.jp/kokudoseisaku/chisei/crd_chisei_tk_000007.html

